

第 29 号

令和元年 5 月 31 日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町 1 番 7 号
電話(0763)32-8124【指導課】

となみ野水工里通信

(1面)

- ・新年度のご挨拶
- ・平成30年度完了地区紹介
- ・用水事故防止対策

(2面)

- ・令和元年度新規地区紹介
- ・主な人事異動及び新規採用職員紹介

新年度のご挨拶

砺波農林振興センター

所長 金村 俊文



皆様こんにちは。引き続き砺波農林振興センター所長を務めます金村です。昨年同様どうかよろしくお願いたします。

さて、年号も平成から令和になり今上天皇陛下のもと祝賀ムードに満ち溢れています。その中管内でも春祭りが盛大に催され、田植えも始まり、地域のみなぎる活気を感じる今日この頃です。しかし、この身近にある豊かで美しい農山村風景ですが、これは先人達が長年農林業の営みを続けてきた賜物と思っております。

この農業の営みについて、「遠野物語」を著した民族学の祖の柳田國男氏は100年前に農商務省在職時代に出版した「農業政策」において、農業も収益の増加を目的とする活動である以上市場経済の動向を論じ、協同組合から共同購入した安価な農業資材を用いて経営規模を拡大し、小農を中農へと養成することで自立経営を図るという現代にも通じる施策を述べています。

そこで、県といたしましては

新たな時代に対応するため、富山米新品種の「富富富」の管内150ヘクタールの本格的栽培、酒米やコシヒカリの特別栽培、「1億円産地づくり」として、たまねぎ192ヘクタール、にんにく、アスパラガス、ブロッコリー等の大規模園芸産地育成による農業所得の増加を図っています。さらに、農地集積・集約化により生産コスト削減を可能にする農地の大区画化・汎用化と安心して暮らせる農村地域の実現にむけ防災・減災対策等を推進することとしております。

当センターといたしましては、職員全員で、県民の皆様の「いのち」と「くらし」を支える持続可能な農林業と安全安心で魅力ある農山村の実現に向けて、これからも一生懸命取り組んでまいります。今後とも、皆様方におかれましては、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



平成30年度完了地区紹介



長年使用されてきたファームポンド（農業用貯水施設）の漏水や、それに伴う地盤の軟弱化による倒壊により、下流の県道などに被害が及ぶ危険性があったことから、安定した地盤へ移設し改修しました。

- 地区名：小又地区
- 事業箇所：南砺市小又（旧福光町）
- 工期：平成29～30年度
- 受益面積：14.2ha
- 事業内容：ファームポンド（貯水量750m³）
- 総事業費：110百万円



山田川から農業用用水を取水するための可動堰が、平成25年の豪雨によりゲート扉体及びシリンダが変形し、ゲート操作がスムーズに出来ない状況となり、溢水により下流に被害が及ぶ危険性があったため改修しました。

- 地区名：柴田屋・上津地区
- 事業箇所：南砺市院林（旧福野町）
- 工期：平成28～30年度
- 受益面積：79.8ha
- 事業内容：鋼製起伏堰（純径間L=19.5m 扉体高さh=1.4m 2門）
- 総事業費：195百万円

用水事故防止対策

五月二十九日（水）「第二回富山県農業用水路事故防止対策推進会議」が開催されました。県では、一月に推進会議を設置し、幅広い委員の方からご意見を伺いながら、年内に対策のガイドラインをとりまとめることとしております。

今回は、過去に事故が発生した南砺市内2地区の現地視察を行った後、当庁舎の会議室で意見交換が行われました。

現地視察の本江地区では事故後に蓋を設置するなど、地域が主体となって多面的機能支払い交付金を活用した農業用水路の維持管理活動の一環として安全対策を行うといった取組が見られました。また、小院瀬見地区では山間の超小規模水路で事故が発生したことに驚きの声も聞かれました。

意見交換の場では、昨年度の農業用水路事故の状況が報告され、県のこれまでの取組と今年度の県対策予算の説明がありました。

次回（第三回）は、十月開催予定で、対策ガイドラインの骨子（案）などが提示される予定です。

本江地区での取り組み



意見交換会



令和元年度新規地区紹介

農地整備事業



- 地区名：祖谷二期地区
- 事業箇所：南砺市祖谷（旧福光町）
- 工期：令和元年～令和9年
- 受益面積：38.3ha
- 事業内容：区画整理(整地工・道路工・用排水路工) 38.3ha
- 総事業費：941百万円

- 地区名：東石黒北部1期地区
- 事業箇所：南砺市梅ヶ島ほか（旧福野町）
- 工期：令和元年～令和6年
- 受益面積：70.6ha
- 事業内容：用水路工 L=11,487m、排水路工 L=6,666m、区画整理工 A=20.6ha
- 総事業費：897百万円

農村地域防災減災事業



- 地区名：福山地区
- 事業箇所：砺波市福山
- 工期：令和元年～令和5年
- 受益面積：26.2ha
- 事業内容：水路改修 535.1m
- 総事業費：400百万円

4月1日付け主な人事異動

4月1日付けの主な人事異動 NN事業関係()は前職

- 計画班長 近堂 善夫（新川農林振興センター農村整備課農地整備第二班長）
- 農村整備課長 杉山 典敬（富山農林振興センター指導課長）
- 水利防災班長 豊本 康晴（商工企画課デザイン・クリエイティブ産業振興班副主幹）
- 水利防災班係長 高柳 義範（高岡農林振興センター農村整備課水利防災第二班係長）
- 農地整備第二班主任 幸脇 百子（新川農林振興センター農村整備課水利防災班主任）

イベント開催案内

- ☆6/1(土) 水土里探訪ウォーク in となみ野 (砺波チューリップ公園北門集合)
- ☆7/1(月) ため池等一斉パトロール (県内)
- ☆7/30(火) 「元気とやま」むらづくり推進大会2019 (富山県民会館)
- ☆8/21(水)～23(金) とやま帰農塾【五箇山なぎ畑塾】 (南砺市菅沼地区)

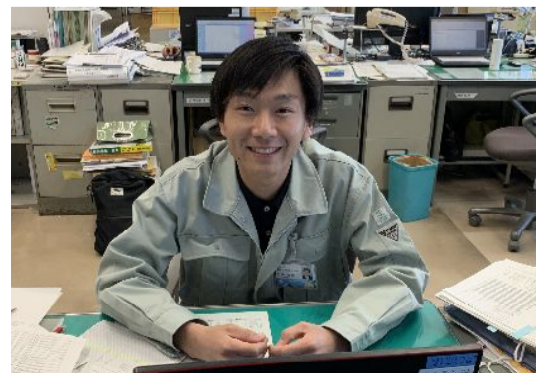
四月から農村整備課水利防災班に配属となりました大島佑也です。大学時代は建築や土木分野を学んでいたため農業土木については学ぶことばかりで新鮮な日々を送らせていただいています。分らないことばかりで不安ではありますが、現場や先輩方の仕事を見て技術や知識を身に付けていきたいと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願致します。



おしま ゆうや 大島 佑也

新規採用職員紹介

四月から農村整備課農地整備第二班に配属となりました岩崎弘頌です。大学では農業土木を専攻していたため、卒業後もこうして農業土木に携わることができ、嬉しく思います。まだまだ分からないことが多く、不安になることもありますが、努力を惜しまず、少しずつ成長していきたいと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願致します。



いわさき ひろのぶ 岩崎 弘頌

編集後記

元号が平成から令和に変わり、時代の節目を迎える中、今年度第1号のとなみ野水土里通信の発行となりました。新年度に入って私にもいよいよ直属の後輩ができ、これまでのように下っ端の気分ではいられないなど日々の引き締まる思いです。さて、今年度の水土里通信は年間4回の発行を予定しております。毎回充実した内容となるよう努めていきますので、皆さま業務の合間にぜひご一読いただければと思います。(農地整備第二班記)



砺波農林振興センター ホームページ トップ画面

ブログやっています。 “とやま水土里探訪ブログ”で検索を！ <http://facebook.com/toyama.nousonsebi>



砺波農林

検索

☆砺波農林振興センター 管内の情報をホームページで発信中！！ <http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>